

ふれあい

2013

1

No.310

牛久愛和総合病院 広報誌



国民の判断が問われる年

院長 高崎 健



新年おめでとうございます。今年が良い年であることを願っています。

政局に関しては年末の慌ただしかった衆議院選挙が決着し、3年前に国民から愛想を尽かされた自民党が再び政権の座に戻ることにになりました。しかし国民が夢を託して自民党を選んだのでしょうか。経済問題、領土問題、教育問題その他多くの課題に対する対策の目処が立っていませんが、医療福祉問題も同様に改善策が見えない膠着状態です。このような状況の中で、今年日本にとっての大問題の一つにTPP（環太平洋連携協定）へ参加問題があります。日本国内の全ての営みに大きく影響する可能性があるからです。参加

するか否かは今年日本人がしなければならぬ最大決断であると云えます。おそらく今年の参議院選挙の争点となることでしょう。世界が一体化の方向に向かう中で日本もその流れに乗らなければ世界から相手にされなくなるなどと述べている評論家もいますが、明治維新の日本開国と同じように考えることは出来ません。TPPは医療環境に大きな影響があります。一般の方々は、医療問題は複雑で難しく素人には判断が出来ないと云われます。しかし少なくとも日本の医療の特徴について知っておかねばなりません。日本の医療制度、国民と医療との関わりは諸外国とかなり違いが有ります。わが国が誇る国民皆保険制度は施行されてから50年が経ち、様々な問題点は出て来ますが、長寿国を築いた制度であり今後とも手直しをしながらでも維持させてゆくべきです。先進国の中で日本の医療の特徴は、①低額の国費支出の中で国民は長寿である、②診療内容は国の診療報酬規定で統一的に細かく決められており、保険適応外の診療は認めていない、③通院率、入院率は世界一であるが、対応する医師数は極めて少ない、④病院のベッド数は抜きん出て多いがなかなか入院出来ない、⑤先端的医療機器の保有台数は世界一である、⑥医師の過重労働は日常的となつてい

る、⑦企業による医療機関の経営は禁止されている。その他いろいろと挙げられます。これらの事項をそれぞれ考えて行くと、不合理、無理な歪みが出てくるのですが、それらの矛盾の中で微妙なバランスで日本の医療は保たれているのです。これらの一部はTPP参加による医療環境の変更で解決されると云われますが、結果としてバランスを失い国民皆保険制度が崩壊する危険もあるのです。国民はTPP参加による利害をどのように考えるのか、国民一人一人に問われることになるのです。医療は国任せではなく一人一人の判断で作られて行かなければならないのです。年頭から硬い話で申し訳有りません。

認定看護師リレーエッセイ

糖尿病看護認定看護師とは

外来 栗山 千絵

認定看護師エッセイリレー第3走者、糖尿病看護認定看護師の栗山千絵です。名前にある糖尿病看護とは、生涯にわたり療養が必要となる糖尿病との付き合い方をサポートさせて頂くことです。

糖尿病との付き合いは時間がかかり、根気も必要です。しかし、それをひとりで続けていくことはたやすいことではありません。こんなに頑張っているのに、なかなか良い結果がでないのはなぜだろう？と思つたことはありませんか。身体のためかと思ひ実行していることでも、実は思わぬ落とし穴がある場合もあるのです。

例えば、一般的に良いといわれている健康食品のなかにも、血糖値を高くしてしまうものもあり注意が必要です。健康のためと思つて、毎朝野菜ジュースを飲んでいたら、それを止めたことで良くなったということ

もありました。運動にも同じことがいえます。空腹の時に運動をするよりも、食事が終わって落ち着いてから運動した方がより効果的です。さらに運動した効果は2〜3日続くともいわれており、とびとびでも続けることが大切です。このように血糖値を下げるのにはちよつとしたことへの気づきが大切です。また、糖尿病の方は足のトラブルに気づきにくいといわれています。水虫、かかとのヒビ割れはありませんか？正しい爪の切り方はご存知ですか？特に冬は、ホットカーペットやホットカイロによる低温やけどなどの危険が多く、注意が必要です。血糖値や足のトラブルが気になる方、興味のある方は外来までお問い合わせ下さい。糖尿病とどうしたらうまく付き合っているか一緒に考えましょう。



第32回

生活習慣病教室

テーマ

「大腸疾患について」

日時 2月26日(火)

14時00分から約一時間

講師

消化器外科部長

曾我 直弘医師

会場

牛久愛和総合病院 B館2階 大ホール

参加費 無料

今回は、大腸についてのお話です。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。



◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話

029-873-3111(代)

知って得するシリーズ②

介護保険制度

病気や加齢に伴い、一人では歩行や立ち上がり、入浴や排泄、炊事や掃除などが難しくなったり、また物忘れがひどくなったり、どうしようかと不安になったことはありませんか？そのような時に手助けし介護を受けることが出来る制度が介護保険制度です。

介護保険制度の利用出来る方は介護を要する①65歳以上の方、または②40歳以上64歳以下の方で特定の病気を患っている方です。

申請は、お住まいの市役所になります。申請をして約1カ月程度で介護の必要度合いに応じた介護度が決定されます。少しでも介護が必要と感じた際は申請をしてみることをお勧めします。(ただし、申請時期は、病気で介護が一次的に必要な時ではありません。加齢により、または病気の治療も一段落したが、継続して介護が必要になった時です。)

介護度が取得できると1割負担で介護度に応じたようなサービスが受けられます。①自宅や施設に通って介護を受けたり、住宅の改修やベッドを借りるなどの在宅サービス。(在宅サービスの専門家であるケアマネジャーと相談しながら手配をすることになります。)②施設に入所して介護を受けるなどの施設サービス。

上手に利用していただき、ご本人やご家族の生活が潤いある生活になればと思います。サービス利用開始の方法など未紹介な点もありますので、詳細はお問い合わせください。

(医療福祉相談室)



春秋園だより

新しい年が始まり、春秋園の玄関には今年も門松を飾らせて頂きました。門松の起源たる松飾りは平安時代から、それに竹が加わり現在の姿になったのは室町時代とのこと。始まりを平安の中期とすれば、約一千年も受け継がれてきたのですね。



今年の春秋園の門松は職員達の手で一から作成しました。今回初めて門松作りに参加する者も多く、普段握ることのないノコギリと悪戦苦闘する場面も。しかし完成した姿は予想を超えた良い出来で、利用者様から沢山のご好評をいただきました。



ただけたことで喜びも一入でした。また、このような習わしを通して職員それぞれ感じるものがあり、園の行事にも活かしていこうと思った次第です。

さて、そうした行事の中で日本でもすっかり定着したクリスマス会の会が昨年12月末に行われました。ボランティアの皆様の歌や演奏の他、数々の余興として利用者様によるハンドベルの演奏発表、子ども達との合唱や楽器演奏など、利用者様が中心になって盛り上がった会となりました。皆様の笑顔、時にはユーモアも飛び出し、サポートする職員達も一緒に楽しませていただきました。

今年も日本の豊かな季節を感じることを大切にしながら、日々の歩みを踏みしめて行きたいと思えます。

(スタッフ一同)

プログラム ○は優秀演者

12月5日(水) 座長 内科 打越 裕之

所 属	演 者	演 題
1	B6階病棟 中村 秀美	認知症状を伴う高齢者からの暴言・暴力の対応について
2	A4階病棟 倉持 朱香	橈骨動脈穿刺法によるCAG施行後の出血合併症と患者要因の関連
3	ICU 大野 結実	歯垢除去ケアのスタッフ指導 ～歯垢染色液を使用したブラッシング～
④	医局 内藤 誠	腎盂腎炎敗血症性ショックに対しエンドトキシン吸着療法が奏功した3症例

12月6日(木) 座長 生理検査室 副科長 栗島 一恵

所 属	演 者	演 題
1	人事部 白澤 洋司	看護職員の離職調査
2	B7階病棟 三浦 純	糖尿病看護に対する看護師の現状調査
3	BML 田中 雅也	NMP22と尿細胞診について
④	A5階病棟 中泉 由美	血液疾患患者の化学療法に伴う患者指導に向けた取り組み

12月7日(金) 座長 看護部長 林 かおる

所 属	演 者	演 題
1	生理検査室 梶 明子	下肢静脈エコーの下肢静脈腫評価における、当院エコーの検査および報告書の改善及び検討
②	外来 曾我 朝子	外来にて予約検査を受ける患者への指導に関する検討 ～パンフレットを使用した説明を試みて～
3	画像診断センター 柏 大地	日立FPD搭載型X線TV装置CUREVISTAの導入及び運用報告
4	新C5階病棟 湯原 真澄	脊椎圧迫骨折患者に対する退院指導の有効性～退院後の生活を見据えた看護師の意図的なかわりから～

第46回

院内研究発表会開催

12月5日(水)から7日(金)の業務終了後17:30～18:30まで大ホールにて院内研究発表会が開催されました。

各部署より、1日4題づつ計12題の発表がありました。大勢の職員が集まり、審査員や各部署からの質問や意見が活発に交換されました。優秀演者は1月4日の全体朝礼で表彰されました。

挨拶 教育委員会 瀬口委員長
審査員 瀬口委員長、寺田看護部長、高橋リハビリセンター長、中野薬剤センター科長、沖津画像診断センター副科長

入 職 者

12月17日付

■ 看護部

准看護師

大関 かおり

縁あって再びお世話になります。いつでも笑顔で心がけていきます。お菓子作りと野球が大好きです。

■ スポーツリラックス

受付 本間 さおり

大人しく負けず嫌いですが、おつちよこちよいなので、長い目で見ていただけたら幸いです。



《出来事ピックアップ》

忘年会

12/15

12月15日(土)に忘年会を実施しました。今回も多くの職員が参加し楽しいひと時を過ごすことが出来ました。その中でも部署対抗による出しものは、5部署からの参加があり、アイドルやお笑い芸人のものでまねで大いに盛り上がりを見せておりました。来年も各部署趣向を凝らした芸が楽しみです。その後恒例の大抽選会を行いました。家電製品や家庭用品、チケットなどたくさん景品があり、当選番号が押し出されるたびに歓声が上がっていました。今年の忘年会も盛況のうちに終了することが出来ました。

(福利厚生委員会)

クリスマス会

12/16

12月16日(日)、病院大ホールでクリスマス会を行いました。ひよこ組はソリに乗っての登場、ちゅうりっぷ組はかわいい音楽隊、たんぼ組は劇「三匹のこぶた」、さくら組は「12ツきの



物語」をしました。そのあと年長児、学童、中学生のキャンドルサービスを行いました。最後は、お姉さんサンタとサンタクロースが登場し、歌って踊って楽しいひとときを過ごしました。サンタさんからプレゼントをもらい、子ども達は笑顔いっぱいでした。(宮一)

編集だより

数十年ぶりの寒波が日本列島全体をつつみ込んで、インフルエンザなどの流行が少しずつ足音をたてています。予防を心掛けましょう。

(K・N)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1032台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
形成外科(アンチエイジング、レーザー)
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

